湯郷渡・上母畑の両サロンの皆さんは、コロナ禍中に
かかわらず寒さに負けないよう健康体操・脳トレと頑張っています！！

1/11（火）湯郷渡サロン
講師：佐川 典子（ニチイ学館）
参加者：　13名

1/14（金）上母畑サロン
講師：杉山雪江（ニチイ学館）
参加者：　11名

・・・よろしくお願いします・・・

令和4年度の自治センター行事・事業を募集いたします。
2月末までに忌憚のない意見をお待ちしております！！

２月の行事

~~1日（火）　9:30　湯郷渡サロン~~
~~講師：ひらたリハビリ~~
~~4日（金）　9:30　上母畑サロン~~
~~講師：廣田 智（理学療法士）~~
5日（土）13:30　書道教室
~~9日（水）13:30　白菊学級~~

新型コロナウイルス感染症防止の為中止

10日（木）　13:30　ハーモニカ教室
19日（土）　13:30　書道教室
24日（木）　13:30　ハーモニカ教室
26日（土）　10:00　そば打ち教室総会
26日（土）　13:30　書道教室

新型コロナウイルス感染症防止の為中止

編集後記　　福島県内では12月に新型コロナウイルス発生がゼロの日が続き、このままの状態が続き収束するのかなあーと思った瞬間にオミクロン株のコロナが感染拡大でまん延防止等重点措置適用になる程に増えてしまいました。わが町でも少数ですが感染者が出始まりました。自分のことは自分で守るためにマスクを正しく着用し、人との間隔を取り、３密を防ぐなどの基本的な感染対策を取りましょう。

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字　（287）小4　矢吹 太心 さん

教育目標
「輝け！母衣旗」

２０２２年２月	第５８３号
発行日	令和４年２月１日
発行所	母畑自治センター
責任者	センター長　瀬谷 長一

令和4年初めてのどんと焼き開催！

令和4年1月16日（日）10時から母畑地区自治協議会主催の初めてのどんと焼きを開催しました。

前日には、どんと焼き準備としてお焚き上げする場所の確保として青竹を四方の角に差し、青竹の上部 を縄で囲み紙垂（しで）を下げられるようにして準備完了。

当日は、実行委員の方達は8時に集合し、お祓いする場所を霜解け対応にコンパネを敷き、正面テーブルにお供物 を準備し、吉田宮司到着を待った。

吉田宮司はお焚き上げ場の青竹四方に回した縄に紙垂を下げ、お焚き上げ参加者を召集し、お祓いの儀始め、祝詞を挙げて頂きその後に参加者による玉串拝礼を行って終了した。

その後、どんと焼きは正月飾り、お札、門松、注連縄（しめなわ）等に火入を行い、一年の無病息災、家内安全、五穀豊穣等お祈りしてお焚き上げが終了した。

実行委員の皆さんには、朝早くから準備、後片付けまでと大変お世話になりました。紙面をお借りしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

吉田宮司によるどんと焼きの祝詞奏上

お焚き上げを預かる受付

松飾り・お札等のお焚き上げ

どんと焼きの云われ

・どんと焼きの由来・・・平安時代の宮中行事で正月15日の夜に正月飾りや御札などを焚き上げるものでした。青竹を杖毬（ぎっちょう）3本を結び、その上に扇子や短冊などを添えて、陰陽師が謳い、はやしながら焼いていたのをこと。これが民間にも広く伝わり、今のどんと焼きに至るという説があります。

・どんと焼き本来の意味は、「お正月に歳神様（年神様）をお迎えするために飾った門松や松飾りを正月の終わる小正月（1月15日）に焼いて、歳神様を空にお送りする」というものです。

・どんと焼きは、その一年の「五穀豊穣/商売繁盛/家内安全/無病息災/子授け/子孫繁栄/厄払い」と言った願いを込めて行われる行事です。

・・・インターネット検索より・・・

1月の白菊学級開催

1/19（水）13:30～白菊学級（会長 木戸孝子）は、廣田智（理学療法士）前半が健康体操で体全体を頭から足先まで十分にストレッチをした。その後に2チーム分けてボッチャの試合を行った。ボッチャの玉を目標に目掛けて投げても思うと所になかなか行かず、悔しがったり、笑ったりして有意義な時間を過ごしました。

体を優しく揉みほぐす

赤青どちらが勝つのか

赤そばの試食会実施！！

12/25（土）10時からそば打ち愛好会（会長 関根 佐太男）では、自治センターホールにて収穫して製粉した赤そば粉を瀧口武・味戸一夫両指導者により、打って頂いたそばを参加者全員で試食した。試食した参加者は、白そばと同等の喉越しで大変美味しかったと感想を述べていました。

開　　会

そば打ち

そば切り

そば汁作り・そば茹で

試　　食

閉　　会

自主防災部会にてAED取扱いついて学ぶ！！

12/26（日）10時から母畑自治センターホールにて自主防災部会（部会長 関根正夫）にて部会員20名の参加の下、石川消防署 4名様のご協力により「AED取扱講習」を行うことができました。　自主防災部会員の方達は、AEDの機器本体を見ている人が大半で実際に使用した人は、いなかったのが現状であった。それを踏まえて石川消防署石幡署員さんによるAED取扱講習が行われた。参加者の皆さんは、咄嗟時の対応に大丈夫という自信を付けていたようでした。

自主防災部会 関根部会長の挨拶

石川消防署 小林署員様のご挨拶

ダミーを利用してAED取扱上の説明をする消防署員さん

AEDを実際に扱う自主防災部会員